

上越ケーブルビジョン FM みょうこう
令和 6 年度
第 1 回放送番組審議会 議事録

開催年月日 令和 6 年 7 月 10 日（水）10：30～11：30
開催場所 上越ケーブルビジョン本社
出席者 委員数 5 名 出席委員数 4 名
審議委員 松屋 徹 委員長、鈴木 陽一 副委員長、保坂 一八 委員
高橋 朋美 委員
JCV メディアセンター担当取締役・部長 沢田真紀
メディアセンター課長代理 岩崎勝洋、メディアセンター 小林由香里

1 開会

2 挨拶 上越ケーブルビジョン 担当取締役部長 沢田真紀

3 議題

(1) 番組について

(a) 生中継「高田城ロードレース大会」

(b) ひるどきラジオ「ぴっとイン」

(2) その他

(a) 親子ラジオ工作教室について

4 議事の概要

(1) について

(a) 生中継「高田城ロードレース大会」

概要 6 月 2 日（日）午前 8 時～午前 10 時（テレビ・ネットは午前 7 時 20 分～）

フィニッシュしたランナーのインタビューを中心に、テレビ・ラジオ・ネットで同時生放送を行った。

(b) ひるどきラジオ「ぴっとイン」 平日 11 時 30 分～14 時生放送

概要 平日 11 時 30 分～14 時生放送。

ランチタイムに「ラジオでほっと一息して、午後の活力を養ってほしい」という思いを込めたタイトル。地域に出かけてイベント情報や旬の話題を伝える「お出かけマイク」では、4 月よりリポーターを変更し、テレビとも話題を共有している。

5 審議内容

(a) 生中継「高田城ロードレース大会」

①（審議委員） 打ち合わせがほとんどないランナーとの掛け合いは流石。

中村さんのワードは愛のあるいじり。

相手がしゃべりたくなるような雰囲気づくりはすごい。

②（審議委員） 沿道の中継であまりしゃべらない子どもにも丁寧に接していてよかった。

本人も近くにありであろう保護者も傷つかない言葉選びでフォローして
いてよかった。

- ③ (審議委員) ロードレースの規制で仕事に遅れた社員がいた。
規制情報が番組にあったらいい。
- ④ (審議委員) 規制案内はコース紹介の中でいれていたが少なかったかも。
移動しながら規制情報を知りたい人にはラジオでの情報が頼り。
運営が設置する規制案内の看板に「FM でも規制案内をするので
お聴きください」と入れてはどうか。
- ⑤ (事務局) 今回はコースも変わり規制箇所が多かった。
番組やタウン情報でも規制案内を出しているが、出し方を考えたい。
市との連携で情報をわかりやすく出来たらと考えている。

(b) ひるどきラジオ「びっとイン」

- ① (審議委員) 展覧会のインタビューは、どんな絵かを想像できなかった。
絵を説明するのは難しいと思うが、リポーターの言葉で考えてしまった。
かけ足に聴こえた。
- ② (審議委員) スタジオのフォローでやっと絵が想像できた。
フォローが流石だと思った。
視覚障害のある方が聴いてもわからないと思った。
- ③ (事務局) 4月から「お出かけマイク」のリポーターが変わった。
まだ慣れない部分もあるが、都度スタッフ間で反省会を行い
課題である情景描写力の向上に取り組んでいきたい。

(2) その他

(a) 親子ラジオ工作教室について

概要 8月10日(土) 9:00~12:00 JCVで開催。

上越・妙高市内の小学5,6年生12組25名が参加予定。

ラジオ工作とラジオ番組への出演、会社見学。

- ① (審議委員) 大人も興味がある。社会科見学などは受け入れているのか。
- ② (事務局) 新棟では見学コースなども考えている。

(b) その他

- ① (審議委員) インタビューする際、呼びかけなど言葉の基準に決まりはあるのか。
かしこまっているようで違和感があった。
もっと距離が近くてもいいのでは。全体の放送を通して気になった。
- ② (事務局) しっかりとした決まりはないが、子どもには小学校の先生が子ども達
に話しかけるように丁寧にわかりやすい言葉でというのは心がけて
いる。
インタビューする相手や内容は、各パーソナリティが対応している。

6 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法

①事務所への備え置き

②自社ホームページ (<https://www.jcv.co.jp/>) への掲載